2022. September
287
令和４年９月発行
商工連情報誌
なるほど神奈川
Kanagawa Prefectual Federation of Sosieties of Commerce and Industry

神奈川県商工会連合会
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
（神奈川中小企業センター10階）
TEL 045-633-5080FAX 045-633-5081
URL http://www.k-skr.or.jp
◎発行責任者／関戸 昌邦 2022.9

大磯町商工会長・座間市商工会長が取組をアピール

黒岩知事と商工会長等との懇談会

7月25日(月)、横浜ベイホテル東急で「黒岩知事と商工会長等との懇談会」が行われました。

冒頭、関戸会長から、「知事は全国の商工会の活動を見られてきているので、地域の活動内容も良くご存知で、毎回適切なアドバイスをいただき大変勉強になっており、いただいたお話を糧にさまざまな方面でお役に立っていきたい」と挨拶しました。

黒岩知事は、コロナウイルス第7波に触れ、「感染はどんどん広がっているので、どの様に感染を防ぐのかをおひとりおひとりが十分おわかりだと思いますので、改めて徹底していただきたい」との話がありました。

挨拶をされる黒岩知事
（県提供画像）

また、コロナで経済状態が傷ついているところに追い打ちをかけるようにウクライナ問題で燃料価格が上がり、円安、穀物の輸入価格上昇など生活を直撃するような様々なことが起こっていることに対して、総額254億円の6月補正予算を県議会から議決を受けたことをあげて、今後も県民が困ったことに対して機敏に対応していくと挨拶されました。

懇談会・意見交換では、大磯町商工会芦川会長から女性部と相模女子大学が協力して摘果みかんを活用したアロマオイルと柔軟剤の商品開発を行ったことや、「大磯町産業プロジェクト（商品開発事業）」で開発を行った地元のお米「きぬひかり」を使った甘酒と「はるみ」を使った焼酎について発表されました。

知事からは、そのままだとゴミになる摘果みかんを有効活用して製品化することは、まさにSDGsそのもので、「今、いろいろなことをやるときにSDGsを紐づけてアピールするとより注目度が上がる」とのアドバイスをいただきました。

次に、座間市商工会内藤会長からアフターコロナ時代に対応した支援として、まちゼミ等の事業の発表がありました。

知事からは、まちゼミを通じてお店のファンづくりがされていること、大型店とは違い、人と人の繋がりができることに対して、「その店としてのストーリーを入れると面白い」とのお話があり、商店街が繋がっていくことで、お店が繋がり、補い、活性化に繋がる非常に良い流れとなるとの評価をいただきました。

座間市内藤会長と大磯町芦川会長
（県提供画像）

また、ざまりん創業塾とテレワークスペースの提供について、DX化がまさにアフターコロナ、次の時代をつくる一つのキーワードだと話されました。

最後に、知事から「県としていろいろなデータを連携させる取組として、ハザードマップとコロナの自宅療養者の居場所のデータを重ね合わせ、コロナ陽性者に対して避難先の案内をする等、災害運営のステージから、ヘルスケアの分野へ流れを作っていくことを考えている。それぞれの地域でどのようにデータの連携をしていけばよいか、課題として考えていただきたい」との話があり、懇談会を終えました。

自分を成長させてくれた青年部活動
県青連主張大会　優勝は　須藤　亮（葉山町）さん

県青年部連合会は、若手経営者・後継者としての資質の向上、青年部活動の活性化を目的に、7月15日(金)葉山町福祉文化会館で第35回主張大会を開催しました。

県内各地区の予選を勝ち抜いた9名の代表者が発表を行い、須藤亮さん（葉山町商工会青年部）が優勝を勝ち取りました。

須藤さんは、青年部活動を通じて、地域に対する強い思いとともに、自分の意見を主張すること、また相手に同調するコミュニケーション能力を学べたことが、仕事に生かされていると発表しました。

県青連山本会長（右）と、
優勝した須藤亮さん（葉山町）

優勝した須藤さんは、県代表として9月13日(火)に新潟県で開催される関東ブロック大会に出場します。

また、今年度青年部全国大会に係る顕彰候補者について「ネットワークづくり部門」から藤野商工会青年部　神田光隆さん、「まちづくり部門」から逗子市商工会青年部を県代表として関東ブロックに推薦することが決定しました。

部員研修会では、一般社団法人地域間交流支援機構の代表理事として真鶴町に拠点を構えている山下拓末氏が、地域活性化について話し、参加した部員から多くの質問があり活発な意見交換が行われました。

〈第35回主張大会〉
優　勝　須藤　亮さん（葉山町）
準優勝　高綱　拓也さん（綾瀬市）
第3位　髙橋耶真人さん（伊勢原市）
特別賞　石塚　岳大さん（小田原市橘）

アクティブ75　藤野商工会青年部

ビジネスコミュニティ型補助金

防災に負けない町へ！
【一人ひとりが出来ること】

藤野地域について

藤野地域は、神奈川県相模原市の北西部緑区にある、山々と湖に囲まれた中山間地域に位置する自然豊かな町です。一方、相模原市で配布されるハザードマップにおいては、土砂災害警戒区域が多数存在する地域でもあります。

そのため、2019年の台風19号の際は、土砂災害で100か所以上の道路が被災し、死亡事故が2件発生するという痛ましい事故が起こりました。災害後に住民に対してアンケート調査をしたところ、「ハザードマップがどこにあるのか分からない」、「自分が避難する場所が分からない」といった声もありました。そのため、藤野商工会青年部では、相模原市と協力しながら藤野地域の情報を中心に記載した防災ガイドブック「防災ふじの」を作成しました。このガイドブックは、各家庭の情報や災害が起きた場合、家族との約束事などを書き込むことでオリジナルのガイドブックが出来上がります。今回、藤野商工会青年部が作成した「防災ふじの」はB5判フルカラー16ページ。コンパクトでありながらも、子どもにも興味を持ってもらえるように藤野商工会青年部の長友真由美さんが描いた漫画やイラストを使用し、わかりやすい内容に仕上げました。加えて、地域全体で防災を考えるきっかけにして欲しいという思いから、青年部員で全戸へ冊子のポスティングを行いました。

藤野地域に特化した防災ガイドブックを作成へ

藤野地域は、過去にも何度か防災ガイドブックを各戸へ配布していたが、冊子の中身を読まずにしまいこむ家庭も多くありました。このため、災害が起きた場合に、適切な対処が出来ないという事態もありました。

そこで、藤野商工会青年部では、相模原市と協力しながら藤野地域の情報を中心に記載した防災ガイドブック「防災ふじの」を作成しました。このガイドブックは、各家庭の情報や災害が起きた場合、家族との約束事などを書き込むことでオリジナルのガイドブックが出来上がります。今回、藤野商工会青年部が作成した「防災ふじの」はB5判フルカラー16ページ。コンパクトでありながらも、子どもにも興味を持ってもらえるように藤野商工会青年部の長友真由美さんが描いた漫画やイラストを使用し、わかりやすい内容に仕上げました。加えて、地域全体で防災を考えるきっかけにして欲しいという思いから、青年部員で全戸へ冊子のポスティングを行いました。

藤野商工会青年部の
長友真由美さんによるイラスト

青年部としての今後の取り組み

藤野商工会青年部は2019年の台風19号の経験から、「藤野は大雨・台風・地震発生時のいずれの場合も土砂災害が発生するリスクが高い。次に自然災害が発生した際に、以前のような死亡事故が起きないよう、地域住民一人ひとりが防災に対して当事者意識を持ち、自身の避難所の把握と防災用品の準備をする必要がある。」と話す。また、青年部内部でも現在、加入しているメンバーだけでなく、今後、部員となる方々に対しても、今回の取り組みが継続できるように地域と協力しながら行いたいとしている。

［防災ふじの］の作成を担当した
青年部の方々

問い合わせ
藤野商工会
☎042-687-2138

神奈川県信用保証協会
金融支援
創業支援
経営支援
～夢と未来に向けて～
かながわの中小企業を
応援します
カナモ
随時ご相談をお受けしています
企業支援部 TEL：045(681)7174

頼れる補償の 商工会の福祉共済
ニーズに合わせて必要保障額に応じて加入プランをご検討いただけます！
けが 病気 がん 生命
商工会会員の皆さまだけが加入できる特別な制度です！
掛金・共済金は、年齢・性別・職種に関係なく一律！
スピーディーな共済金支払い！
全ての手続きが商工会で出来るので便利で安心です！
お申し込み・お問い合わせは各商工会まで

神奈川県商工会連合会と日本政策金融公庫が「事業承継支援に関する覚書」を締結

神奈川県商工会連合会（会長　関戸昌邦）と日本政策金融公庫の神奈川県内5支店（横浜・横浜西口・川崎・小田原・厚木）は7月19日㈫、事業承継マッチング支援実施に向けた覚書を締結しました。

今回、覚書を締結した背景には、中小・小規模事業者の方々が後継者不在や新型コロナウイルスの影響等により、休・廃業する事例が急増していることが挙げられます。

これらの問題を解決するために、神奈川県下19商工会が、会員事業者等の中から「後継者がいない等のために事業を譲り渡したい」とのニーズを掘り起こすとともに、日本政策金融公庫は、全国152支店のネットワーク等を活用して「事業を譲り受けたい」と考えている方々を紹介していきます。県連としても覚書締結を機に、新たなスキームを活用して、神奈川県内の中小・小規模事業者の事業承継問題の解決に向けた取り組みをより一層支援してまいります。

関戸県連会長（左）・
鷲見日本公庫横浜支店長（右）

商工会トピックス

座間市商工会

建設業フェア2022

オンライン：オンライン展示会（10社）
建設業フェア2022開催
PR及びリフォームのポイント等の掲載
リアル：木工制作体験・耐震リフォーム相談・リフォーム施工事例beforeAfter展示

日時　**オンライン**：令和4年8月22日㈪～令和4年9月22日㈭
リアル：令和4年9月10日㈯10時～16時
場所　**オンライン**：MICEプラットフォームオンライン特設会場
リアル：イオンモール座間1階ノースコート催事場
交通手段　**オンライン**：オンライン展示会URLについては座間市商工会HP内新着情報で発信予定
リアル：小田急小田原線　小田急相模原駅北口より神奈中バスのイオンモール座間行き（直通）
お問合わせ　**座間市商工会**　☎046-251-1040

第3回まちゼミin座間

お店の人が講師となってプロの「コツ」や「専門的な知識」等を教える少人数制のミニ講座です。

日時　令和4年11月1日㈫～11月30日㈬
場所　市内各事業所
参加店舗　参加店舗については座間市商工会HP内新着情報で掲載予定
お問合わせ　**座間市商工会**　☎046-251-1040

昨年のまちゼミで様々な味噌を使った味噌汁を提供

ざまりん創業塾

創業を進めるための基礎的知識の習得やビジネスプラン作成を支援する。開業の基礎知識、財務の基礎、収支計画立案・プレゼンテーションまで全5日間開催する。

日時　令和4年10月1日㈯・8日㈯・15日㈯・22日㈯・29日㈯　全5日間
場所　座間市役所　5階5－1「会議室」、4階4－2、3「会議室」
受講料　3,000円
定員　20名（地域問わず参加可能）
申込み締切　令和4年9月26日㈪
お問合わせ　**座間市商工会**　☎046-251-1040

津久井商工会

第37回津久井やまびこ祭り

津久井商工会青年部が中心となり企画・運営する、津久井地域の歴史・風土を生かしたお祭りです。個店・ステージイベント・フリーマーケット・その他催し物などが盛りだくさん。津久井エリア最大の秋の祭典「津久井やまびこ祭り」へ是非お越しください。

日時　令和4年10月23日㈰　10時～15時
場所　相模原市立中野中学校庭及び周辺
交通手段　JR横浜線・相模線、京王線「橋本駅」から「三ヶ木」行きバス（橋01系統）、「津久井警察署前」下車、徒歩3分
お問合わせ　**第37回津久井やまびこ祭り実行委員会事務局（津久井商工会館内　担当永井）**　☎042-784-1744

津久井商工会青年部が企画・運営する秋の祭典

女性部

関東ブロック交流研修会（山梨）

神奈川県の女性部代表として峰尾由美子氏が発表

令和4年7月6日㈬河口湖ステラシアター（山梨県）において関東ブロック商工会女性部交流研修会が開催されました。神奈川県からは60名が参加。お揃いのターコイズブルーのポロシャツを着て会場に集結しました。

主張発表大会では、各都県連を代表する11名が持ち時間10分間でテーマに合せた発表を行いました。神奈川県女性連の代表としては、小田原市橘商工会の女性部長峰尾由美子氏が「女性部活動と地域振興・まちづくり」をテーマに女性部長に就任後、コロナ禍に於いて満足いく活動が行えない中、出来ることからと参加したイベント出店の試みや、この経験から得た女性部としての地域貢献の在り方から発想された新たな事業へのチャレンジなど、活動し続ける事や地域貢献の大切さなどについてうったえる、素晴らしい発表をされました。

主張発表大会応援の様子

最優秀賞には千葉県南房総市朝夷商工会の髙倉かつ江氏が選ばれ、10月25日㈫に開催される宮城県での全国大会で関東ブロック代表として主張発表されます。

主張発表者峰尾氏

視察研修時の集合写真

column

小規模事業者のための“販路開拓の３ステップ”

第１回　**価格戦略**

有限会社仙台屋　代表取締役　**小野寺 正博**

小規模事業者のための“販路開拓の３ステップ”として、①価格戦略、②パーフェクトカスタマー商品戦略、③プレゼンテーションの３回にわたって、売れる商品の考え方、売る力の高め方についてお話ししたいと思います。

１回目の今回は「価格戦略」についてお話しします。食品メーカーの事業計画、商品企画開発や販路開拓の支援に携わっているなかで、小規模事業者の経営者が意外と知らない人が多く、また、最初につまずくところでもあるのがこの「価格戦略」です。

商品開発の基本「マーケティングの４P」

商品開発のマーケティング理論に「マーケティングの４P」というものがあります。Product（製品）・Price（価格）・Place（販路）・Promotion（販促）の頭文字の４つのPを取って４Pと名付けられています。食品業界に限らず、商品開発はこの４要素について一貫性をもたせながら高めてゆくことが大切です。

商品自体をよいものを作ることはもちろん大切ですが、Product（製品）だけでなく、他の３要素について、並行して、かつ一貫性をもたせながら高めてゆくことが売れる商品づくりには欠かせません。

マーケティングの４P

（提唱者：エドモンド・ジェームス・マッカーシー　1961年・米国）

マーケティングの４P			
Product（製品）	Price（価格）	Place（販路）	Promotion（販売促進）
商品企画・開発 商品仕様 デザイン ブランド	製品原価 送料 上代設定 （希望小売価格） 下代設定 （卸価格）	ターゲット消費者 販売地域 流通カテゴリー	広報・PR 営業方法 広告 キャンペーン 特典など

そして、地域の小規模事業者の商品づくりや販路開拓で必ずと言ってよいほど浮かび上ってくる問題が、価格戦略がないこと、目指す販路に向けた価格設定になっていないこと、また、そのこと自体を知らないことです。私個人的には、私達、小規模事業者は４Pで商品開発・販路開拓を進めるなかでも、この価格戦略が一番重要なポイントではないかと考えています。なぜなら、ここを押さえておかないと商談の土俵に上がることすらできないからです。

流通の構造を知る

地域の食品メーカーが（多くの場合が自社配送によって）地域内の流通小売業へ商品を卸している場合と、首都圏をはじめとした都市部等へ流通させるのでは流通価格構造が異なります。物流自体にコストが掛かることの他に、取引口座を開設する課題、与信問題や受発注効率化など、商流と物流の円滑化、スムーズな取引開始のために中間流通（卸業者等）の協力が必要になるケースが少なくありません。最終取引先の都合も考慮することが必要になってきます。

地方の販路開拓相談会などでお話しを聞くと、そもそも流通できる下代価格（卸価格）設定になっていないことや、そもそもそういった中間流通を想定した価格構造を存じていない方も少なくないです。流通の仕組みにのせて販売展開している事業者にとっては当たり前のことでも、これまで地域内のみで取引していた事業者からすれば、ご存知ないことも当然かもしれません。この場では具体的な数値は控えさせていただきますが、首都圏をはじめとした都市部等へ流通させるための価格構造についてアドバイスさせていただくと驚かれる小規模経営者の方は意外と多いです。

相手のことを知る

商品づくりに経費が掛かるように、自分の手を離れて他の人の力を借りて最終的に消費者に購入していただくには、流通業（卸業、小売業）にも経費が掛かることを理解しなければなりません。一方で、流通販路に乗ることで、自社商品が自分達だけでは到底手の届かない地域でも販売されるというメリットを享受できるという意識・感覚を持つことも大切だと思います。

地元地域を中心に販売展開することや都市部に流通させることに、もちろん優劣があるものではありません。今までの私の支援の経験からすると、多くの小規模事業者が地域販売からのステップアップとして、次は首都圏、都市部への販路拡大を目指す方が多いことも事実です。そのためにも、このような流通の仕組み・価格構造を勉強して、知識として持つことがビジネス展開する上で必要であると考えます。

次回は、価格戦略を知った上で、目指す販路に向けた商品づくりの考え方である、パーフェクトカスタマー商品戦略についてお話しいたします。

小野寺 正博 プロフィール

大手電機メーカー商品化・販促部門、都内飲食店、外資系ホテル宴会部門勤務を経て、機内食ケータリングを中心とした中小食品メーカーの企画開発室長として従事、新規事業や商品開発、企画営業を担当する。2010年に経営コンサルタントとして独立し中小事業者支援に携わる。

現在は、主に食品メーカーを対象に、事業計画策定等のコンサルティング、新商品企画開発・販路開拓のプロデュース・マネジメントのワンストップサービスによる中小事業者支援のほか、地域活性化・地方創生事業のコーディネーター業務、アンテナショップ運営支援など、活動の幅は多岐にわたる。クライアントからは、わかりやすい説明、的確で実用的なアドバス、細やかなサポートといった定評がある。

［現　職］
大正大学地域構想研究所　特別研究員
関東財務局・関東経済産業局　認定経営革新等支援機関
農林水産省
　農山漁村発イノベーション中央サポートセンター　エグゼクティブプランナー
　地域食品産業連携プロジェクト（LFP）推進事業　LFPコーディネーター
　地理的表示保護制度（GI）GIサポートデスク　GIアドバイザー
その他、県外郭団体や商工会の専門家としても活動する。